高圧ガス販売計画書の附属明細書（液石）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 容器置場（容器置場を所有する場合のみ） | 所在地 | |  | | | | | |
| 面積 | | 縦　　　　　　　　　ｍ×横　　　　　　　　ｍ＝　　　　　　　　　　㎡ | | | | | |
| 容器による  貯蔵に係る  技術基準  対応状況  （液石則第  １９条第２  号関係）  ※該当する  箇所の□に  チェック  すること | | □　船、車両、若しくは鉄道車両に固定し、又は積載した容器での貯蔵は行いません。  □　充てん容器等の貯蔵は、通風の良い場所で行います。  ｛□開口部：　　　　　方向（２方向以上）　□換気装置｝  □　充てん容器等は、充てん容器及び残ガス容器にそれぞれ区分して容器置場に置きます。  ｛区分方法：□札　□ライン　□その他（　　　　　　　　　　　　）｝  □　１５年以上経過した一般複合容器（ＦＲＰ容器）等を高圧ガスの貯蔵に使用しません。  □　容器置場には、計量器等作業に必要な物以外の物を置きません。  □　容器置場の周囲２ｍ以内においては、火気の使用を禁じ、かつ、引火性又は発火性の物を置きません。距離が不足する場合は、容器置場に障壁を設けます。  　□火気距離：　　　　ｍ（２ｍ以上）  　□障壁設置　　□厚さ９ｃｍ以上の鉄筋コンクリート造り  　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）  □　充てん容器等は、常に温度４０度以下に保ちます。  ｛温度保持装置：□屋根　　□温度計　　□その他（　　　　　　　　　）｝  □　充てん容器等（内容積５ℓ以下のものを除く）には、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する装置を講じ、かつ、粗暴な取扱いは行いません。  ｛防止措置：□チェーン　　□ロープ　　□その他（　　　　　　　　　）｝  □　容器置場には、携帯電燈以外の燈火を携えて立入りません。 | | | | | |
| 容器置場付近の状況を示す図面 | | | 別紙のとおり | | 容器置場構造図 | | 別紙のとおり |
| 保安台帳の様式 | | | | | | 別紙のとおり | | |
| 配管の気密試験のための器具又は設備  （該当する□にチェックすること） | | | | | | □自記圧計　　□マノメーター  □　その他（　　　　　　　　　　） | | |
| 販売所付近の状況を示す図面 | | | | | | 別紙のとおり | | |
| ガスの仕入先 | |  | | | | | | |
| 販売主任者 | |  | | | 販売に従事する従業員数 | |  | |
| 備　　　　考 | |  | | | | | | |